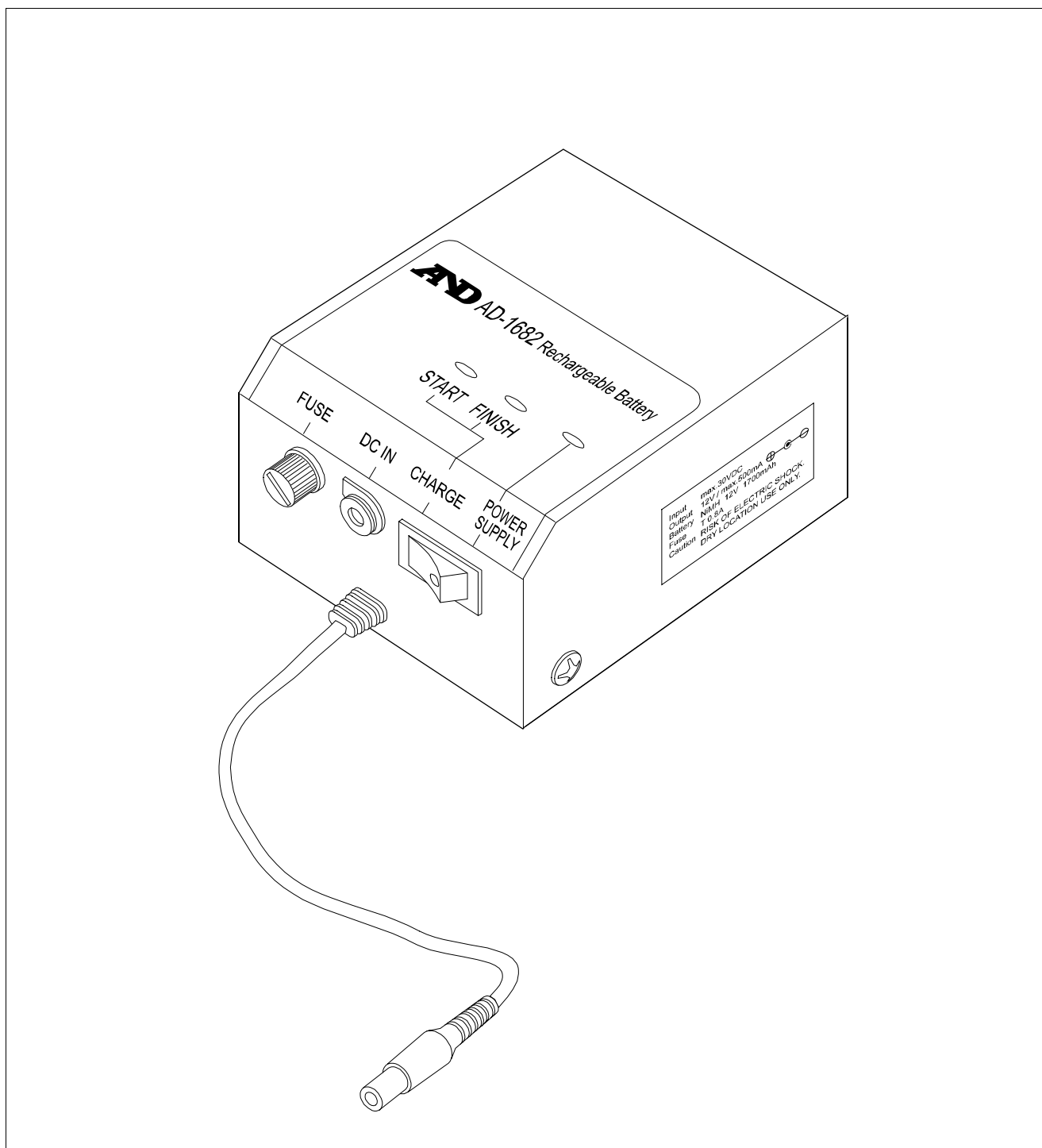


AD-1682

充電式バッテリー・ユニット

## 取扱説明書



## 注意事項の表記方法



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 注意

正しく使用するための注意点の記述です。

### お知らせ

機器を操作するのに役立つ情報の記述です。

## ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2005 株式会社 エー・アンド・デイ  
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。



## 1. 注意事項



危険

- ・ 火中への投入、加熱、分解はしないでください。発熱、発火、破裂、破壊、液漏れの危険があります。
- ・ 水に濡らさないでください。発熱や発火の危険があります。



警告

- ・ 完全に放電する前に再充電を度々繰り返すと発熱、ガスの発生、アルカリ液の液漏れなどの原因になることがあります。
- ・ 充電には付属の充電器を使用してください。指定以外のものを使用すると発熱や発火することがあります。
- ・ AD1682はエー・アンド・デイ製の「天びん」を対象とした製品です。指定製品以外への接続では発熱や発火することがあります。なお、使用可能な「天びん」については「使用可能なエー・アンド・デイ製天びん一覧」でご確認ください。



注意

- ・ 幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・ 強い衝撃を与えたり、落下させないでください。



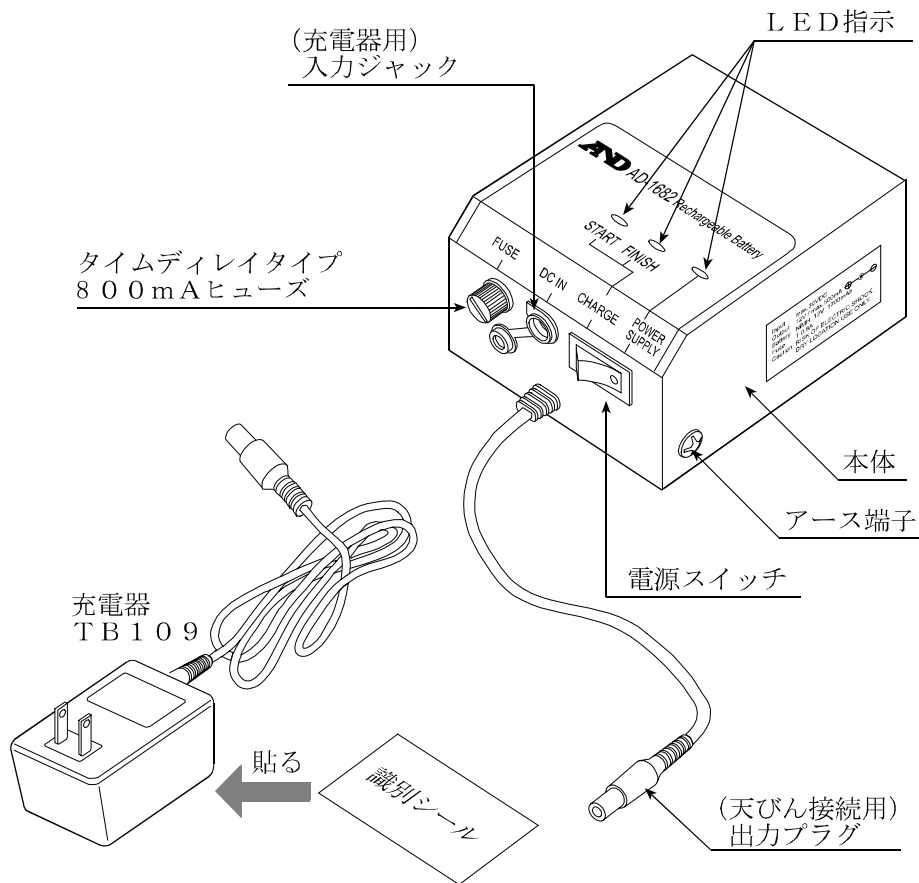
## 2. 充電式バッテリー・ユニット

AD1682は、エー・アンド・デイ製の「天びん」をAC電源のない場所で使用するための充電式バッテリー・ユニットです。使用可能な「天びん」とその動作時間は、「2.2仕様」を参照してください。



### 2.1. 梱包内容と名称

バッテリー・ユニット本体	1
ヒューズ (800mAタイムディレイタイプ)	1
充電器 (TB109)	1
識別シール (充電器 (TB109) に貼ってください。)	1
取扱説明書 (本書)	1





## 2.2. 仕様

本体質量	約 1.3 kg
使用温度範囲	+ 5℃～+ 40℃
保存温度範囲	- 20℃～+ 40℃ (長期保存)
使用時間	約 8 時間 (天びん GXシリーズによる連続動作の場合。使用条件により時間は変わります。)
充電時間	約 15 時間
充電方法	定電流充電 (タイマーによる自動停止)
外形寸法	58H×96W×140D mm
出力電圧	12V (500mA max.)
充電電池	ニッケル水素電池 (Ni-MH)
出力ケーブル長	約 1 m

### 使用可能なエー・アンド・デイ製天びん一覧

使用可能な天びん	連続使用時間 (使用条件により時間は変わります。)
HXシリーズ、SVシリーズ	5 時間
GPシリーズ、GX-K/GF-Kシリーズ	6 時間
FCシリーズ、FPシリーズ、GHシリーズ、GRシリーズ、 GX/GFシリーズ、HMシリーズ、HPシリーズ、 HR-202、HR-300、HR-iシリーズ	8 時間
AD-8922	12 時間
ET-Wシリーズ、HFシリーズ、HR-60、HR-120、 HR-200	16 時間
EK-Gシリーズ、EK-Hシリーズ、EW-Gシリーズ	28 時間
HCシリーズ、HDシリーズ	66 時間

AD1682に対応する「天びん」は上記のみです。(ただし、SVシリーズは粘度計、AD-8922は外部コントローラです。)

### 使用上の注意

- ・ 連続して使用できる時間は、使用条件によって変化します。
- ・ 充電中は天びんに電力を供給しません。
- ・ 出力プラグをショートしないでください。
- ・ 長時間放置すると自己放電することがあります。長時間放置した後は使用前に充電してください。
- ・ 天びん本体の ON/OFF キーで表示を消した場合でも、天びんは電力を消費しています。完全に電源を OFFにするためには、充電器をバッテリー・ユニットから外し、電源スイッチを CHARGE にしてください。(この状態で充電器をバッテリー・ユニットに接続すると充電が始まるので注意してください。)
- ・ 充電器を接続しているとき、電源スイッチを CHARGE にする度に充電が再スタートします。完全に放電する前に再充電を繰り返すとバッテリーの寿命が短くなります。



## 2.3. 充電方法

### 注意

- ・ バッテリーを使い切らないまま（POWER SUPPLY ランプが点灯している状態から）再充電するとバッテリーの容量低下の原因となります。
- ・ 充電を開始したら、START ランプが消え、FINISH ランプが点灯するまで充電を行ってください。（約 15 時間）
- ・ 充電中は天びんに電力を供給しません。
- ・ 充電中に START、FINISH ランプが同時に点滅した場合は、充電器の出力不足です。指定された充電器の使用および電源の電圧を確認してください。

### 手順

ステップ 1 バッテリーを使い切ったことを確認します。

ケース1 充電器を接続しない状態で、電源スイッチを POWER SUPPLYにしたとき、POWER SUPPLYランプが消灯している。

ケース2 ローバッテリー検出機能を持つ天びんでは、ローバッテリー「Lb」を表示している。

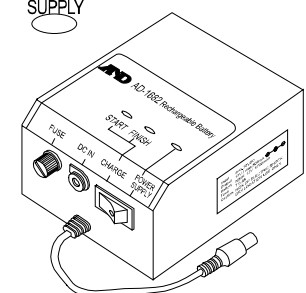
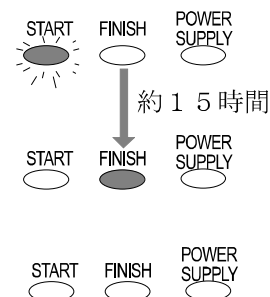
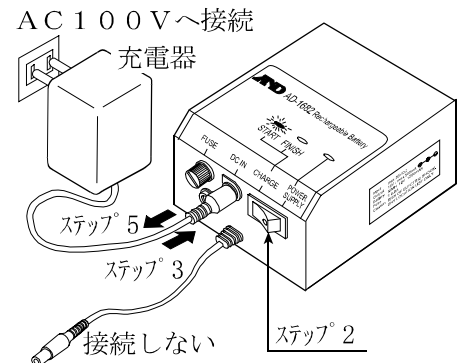
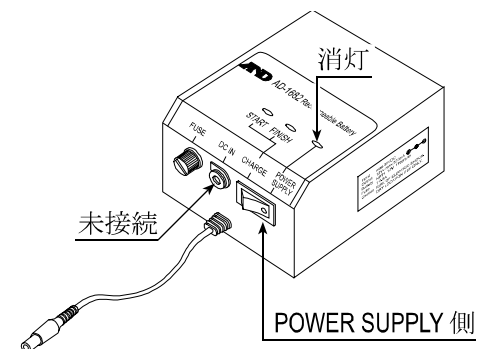
メモ POWER SUPPLYランプが点灯していても再充電は、開始します。

ステップ 2 バッテリー・ユニットの電源スイッチを CHARGE にします。

ステップ 3 右図のように充電器とバッテリー・ユニットを接続し、充電を開始します。START ランプが点滅します。

ステップ 4 充電は、開始から約 15 時間、自動的に START ランプが消え、FINISH ランプが点灯するまで（充電を終了するまで）行います。

ステップ 5 充電後、再充電を避けるため充電器をバッテリー・ユニットから外すことをお勧めします。





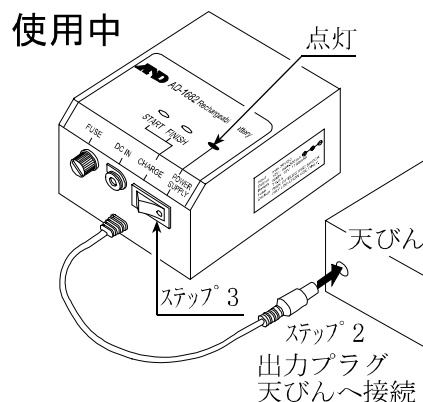
## 2.4. 使用方法（バッテリー・ユニットから電力を供給する）

充電したバッテリー・ユニットから天びんに電力を供給する方法です。

ステップ 1 充電後、充電器をバッテリー・ユニットから外します。

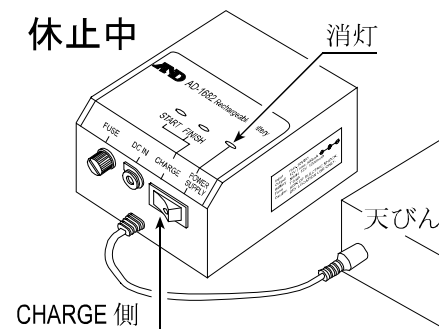
ステップ 2 天びんにバッテリー・ユニットの出力プラグを接続します。

ステップ 3 電源スイッチを **POWER SUPPLY** にすると、**POWER SUPPLY**ランプが点灯し、天びんに電力を供給します。



ステップ 4 天びんを使用しないとき、電源スイッチを **CHARGE** にします。**POWER SUPPLY**ランプが消灯します。この状態ではバッテリー動作がオフとなり、バッテリーの電力は消費されません。

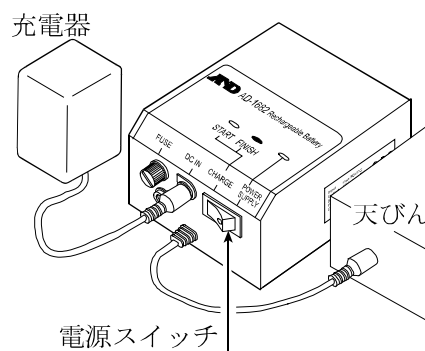
ステップ 5 天びんを動作させているとき、電力が少なくなり電圧が下がると、自動的に **POWER SUPPLY** ランプが消灯し、バッテリー動作がオフになります。この場合、バッテリー保護のため電源スイッチを **CHARGE** にしておいてください。



### 注意

図のような接続（天びんと充電器をバッテリー・ユニットに同時に接続すること）は、誤って充電してしまう原因になるので注意してください。

この接続では、電源スイッチの状態によって次表の動作をします。



電源スイッチ	動作と注意事項
POWER SUPPLY側	充電器から天びんに電力を供給します。 バッテリーを充電しません。
CHARGE側	バッテリーを充電します。（再充電します。） 天びんに電力を供給しません。（天びんは動作しません。）



## 2.5. バッテリー・ユニットの動作状態と操作の種類

電源スイッチ	充電器	LED指示 START FINISH POWER SUPPLY	動作状態
CHARGE	接続中		充電中。充電完了まで約1.5時間です。 <b>#1</b> 充電中は、天びんに電力を供給しません。
CHARGE	接続中		充電器の出力不足です。 指定された充電器の使用および電源の電圧を確認してください。
CHARGE	未接続		動作オフ。
POWER SUPPLY	未接続		バッテリーから天びんに電力を供給します。 <b>#2</b>
POWER SUPPLY	接続中		充電器から天びんに電力を供給します。

**#1** 充電はバッテリーを使い切ってから行ってください。

**#2** バッテリーによる連続動作時間は「仕様」を参照してください。